

## 投稿規定

(2019年5月改訂)

1. 日本新生児成育医学会雑誌への投稿は、依頼原稿を除き、筆頭著者のみでなく、共著者もすべて本学会会員に限ります（筆頭著者が卒後5年以内の研修医で非会員として投稿する場合を除く）。
2. 投稿は、日本新生児成育医学会・学会誌編集委員会のE-mail宛に、表紙（論文表題、著者の姓名、所属、職名、e-mailアドレス、原稿枚数、図表の枚数）・本文（要旨、本文、文献、図表の説明、タイトル）、英文抄録（論文表題、著者の姓名、所属、英文抄録）のWordファイル、図表ファイル、誓約書、COI、投稿論文チェックリストなどの全てのファイルを添付してご送付ください。ただし、添付ファイルの合計容量は7MB以内とし、誓約書はPDFファイルでお送りください。ファイルサイズが大きくて送信できない場合や、事務局から投稿受付メールが届かない場合は、必ず事務局にお問い合わせください。 ※投稿論文の書き方の詳細は7.をご参照ください。
3. 論文（原著、症例報告、綜説など）は新生児の医学、医療、成育ならびにこれに関するもので、他の雑誌などに未発表のものに限ります。英文論文も受け付けます。ただし投稿前に英語を母国語とする医師、もしくは英語が堪能な医師の校閲を受けてください。
4. 臨床研究の論文では「ヘルシンキ宣言」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」などの研究倫理を遵守し、所属施設の倫理委員会で承認を得た研究であることおよび患者（保護者）から文書による同意を得たことを明記してください。後方視的研究、2症例以上の症例報告についても倫理委員会の承認が必要です。
  - (1)臨床研究の論文（後方視的研究、2症例以上の症例報告を含む）では倫理委員会または当該委員会の承認を得た研究であること、および介入がある研究では患者（保護者）から文書による同意を得たことを本文中の「対象と方法」の部分に明記してください。  
所属施設が同意についてオプトアウトなどの方法で対応している場合にはその旨を本文中に記載し、施設の規定を原稿に添付してください。
  - (2)1症例の症例報告では、以下のいずれかにより論文投稿に対する患者（保護者）の同意を得て、その旨を本文中の「対象と方法」に記載してください。
    - 1) 患者（保護者）から文書による同意を得る。
    - 2) 患者（保護者）から口頭による同意を得て、その旨を診療録に記載する。
    - 3) 患者（保護者）からの同意を得ることが状況的に難しい場合は所属施設の倫理委員会または当該委員会にて承認を得る。
  - (3)症例報告であっても研究的侵襲、試料採取、検査などが行われる場合では倫理委員会の承認と患者（保護者）の同意を得て、その旨を本文中の「対象と方法」に記載してください。
  - (4)いずれの論文においても個人が特定されることがないよう個人情報の保護に配慮してください。特に顔写真や家系図を使用する場合は個人が識別できないようにして、論文に使用することに対する患者（保護者）の同意を得たうえで図の説明文にその旨を記載してください。
5. 論文の採否は2人ないし3人の査読を経たのち、編集委員会で決定します。査読または編集委員会により原稿の訂正を求められた場合は、査読結果通知日から3か月以内に再投稿してください。学会誌編集委員会に連絡なく期限を過ぎた場合は新規投稿となります。
6. 誓約書はホームページからダウンロードした所定の用紙に著者全員が署名押印し、スキャンしたPDFファイルを投稿時にe-mailに添付してください。掲載された論文の著作権は本学会に帰属します。  
\*誓約書には必ず筆頭著者の連絡先、生年月日、医学部卒業年次および全員の会員番号をご記入ください

(原稿の表紙や本文には記載しないでください)。

7. 投稿論文の書き方は以下の如くです。

- (1)原稿は原則として8ページ(図表, 文献を含む)以内とします(1ページの文字数は図表を含まない場合, 和文: 約2,000字/英文: 約600words) ※掲載料に関しては8. をご参照ください。
- (2)和文原稿は, 左横書きとし, 当用漢字, 現代かなづかい(かなはひらがな)を用い, A4判40字×30行(文字の大きさは12ポイント)としてください。英文原稿はA4白紙に十分なマージンをもって12ポイント, 30行としてください。原稿にはページ番号・行番号を記載してください。
- (3)本文の1ページ目に, 論文表題, 著者の姓名, 所属, 職名, e-mailアドレスを明記し, 原稿枚数, 図表の枚数を記載してください(筆頭著者が非会員の場合は会員の連絡担当者も記載してください)。e-mailにて査読結果を返送しますので必ず連絡が取れるアドレスを明記してください。
- (4)論文の構成としては, 下記例のようにまとめてください。  
研究論文: 要旨-緒言-対象・方法-成績(結果)-考察-結論  
症例報告: 要旨-緒言-症例-所見・経過-考察-結び
- (5)要旨(和文: 400字以内, 英文: 300words以内)は, それだけで論文の内容がわかるように, 2ページ目にまとめてください。なお, 英文原稿の場合は和文要旨も付けてください。
- (6)Key word(英語で5words以内)を要旨の後に付けてください。
- (7)和文原稿の本文には, 英文抄録(300words以内)を最終ページに必ず添えてください。英文は英語を母国語とする医師, もしくは英語が堪能な医師の校閲を受けてください。
- (8)和文原稿では, 日本語で表現できる用語はできるだけ日本語で書き, 外国語の使用を極力避けてください。ただし, 文献, 人名, 地名, 酵素名, 化学物質名, 薬品名は原則として原語を用いてください。用語は日本医学会医学用語辞典と日本小児科学会用語集に準じて使用してください。略語を使用する場合は原則として初出時に「日本語(英語のフルスペル:省略形)」の形式で記載してください。なお, あまり意味のない略語の使用は避けてください。
- (9)図表は必要なものを厳選してください。図はそのまま印刷できるものをお送りください(tiff, jpg, pdfなど。なおパワーポイントデータは, 作成されたものと違うバージョンで開いた場合, 文字がずれたり線が消えたりすることがありますのでpdfに変換してお送りください)。図表には番号をつけタイトルと説明を記載し, 図や表の参照位置を本文に明記してください。
- (10)度量衡はkm, cm, mm,  $\mu$ ,  $m\mu$ , L, mL, kg, mg,  $\mu$ g, mEq/L, mg/100mLなどの単位を, 数字は1, 2, 3などの算用数字を用いてください。
- (11)文献は引用順で末尾に一括して, 次の形式で記載してください。著者は3名までは全員を, 3名以上の場合は3名までを書き, 他やet alをつけてください。また, 単行本の場合は編者の名を記入してください。

雑誌の場合 著者名. 論文題名. 雑誌略名 年; 巻: ページ初-終.

外国誌は Index Medicus, 邦文誌は医学中央雑誌収載誌略名をお使いください(略名医学中央雑誌のホームページから検索できます)。

著書の場合 著者名. 表題. 編者, 書名. 版数, 発行社, 発行地, 発行年(西暦); 引用ページ初-終.

例: 雑誌

森岡一朗, 中村 肇, 香田 翼他. 我が国の超早産児に対する黄疸管理と治療の現状. 日新生児成育医学会誌 2015; 27: 299-304.

Konishi M, Fujiwara T, Naito T, et al. Surfactant replacement therapy in neonatal respiratory distress syndrome-A multicentre, randomized clinical trial: Comparison of high-versus low-dose of surfactant TA. Eur J Pediatr 1988; 147: 20-25.

例：著書

楠田 聡. 新生児医療と内分泌疾患. 新生児内分泌研究会編, 新生児内分泌ハンドブック. 第1版, メディカ出版, 大阪, 2008: 12-17.  
Miyasaka K. Mechanical Ventilation. In: Holbrook PR, ed. Textbook of Pediatric Critical Care. WB Saunders, Philadelphia, 1993: 442-464.

- (12)「投稿論文チェックリスト」をホームページからダウンロードし、各項目を確認してチェックマークを入れたファイルを、原稿とともに e-mail に添付してお送りください。なお、規定に沿わない原稿は受付できないことがあります。
- (13)筆頭著者が卒後5年以内の研修医・専攻医で非会員として投稿する場合は、非会員投稿申請書をホームページからダウンロードし、必要事項を入力の上、原稿とともに e-mail に添付してお送りください。
8. 掲載料：組上がり4ページまでは学会が負担します。4ページを超える分については1ページ当たり10,000円を申し受けます。ただし、学会誌編集委員会より依頼した原稿についてはこの限りではありません。別刷は実費で印刷しますので、校正の時に希望部数を記載してください。誌面への掲載後、希望者にはPDFデータをお渡しいたします。PDFデータは個人使用に限ります。
9. 原稿送信先：

e-mail : [foukou@jsnhd.or.jp](mailto:foukou@jsnhd.or.jp)

一般社団法人日本新生児成育医学会 学会誌編集委員会 宛

\* 誓約書には必ず筆頭著者の生年月日、医学部卒業年次および全員の会員番号をご記入ください。

10. 利益相反に関する自己申告書の提出

日本新生児成育医学会が定めた利益相反指針および指針細則に則り (<http://jsnhd.or.jp/society/riekisohan.html>)、筆頭著者と共著者それぞれが「発表者の利益相反自己申告書」に記入・署名しスキャンしてPDFファイルとしたうえ、投稿時に e-mail に添付して提出してください。発表には、学術集会講演録、原著論文、綜説、委員会報告、教育セミナーワークショップ報告書などが含まれます。原則として利益相反状態の有無は論文の採択には影響しません。論文が採択された場合、利益相反状態の有無にかかわらず、申告書の内容は学会誌に明記されます。

【利益相反状態にある場合の記載例】

- ・著者名：開示事項、企業・団体名。他の著者に関しては日本新生児成育医学会の定める利益相反に関する開示事項はありません。

【利益相反状態にない場合の記載例】

- ・日本新生児成育医学会の定める利益相反に関する開示事項はありません。

平成28年5月14日改訂

平成29年10月14日改訂

平成30年1月19日改訂

2019年5月10日改訂

研究倫理に関しては下記の倫理指針などを参考にしてください。

1. 世界医師会 ヘルシンキ宣言

<http://dl.med.or.jp/dl-med/wma/helsinki2013e.pdf>

<http://dl.med.or.jp/dl-med/wma/helsinki2013j.pdf>

2. 人を対象とする医学系研究に関する倫理指針

<http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-10600000-Daijinkanboukouseikagakuka/0000069410.pdf>

3. ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針

<http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-10600000-Daijinkanboukouseikagakuka/sisin1.pdf>

4. 遺伝子治療等臨床研究に関する指針

[http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-10600000-Daijinkanboukouseikagakuka/150812\\_rinrisesin.pdf](http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-10600000-Daijinkanboukouseikagakuka/150812_rinrisesin.pdf)

5. 厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針

<http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-10600000-Daijinkanboukouseikagakuka/honbun.pdf>

6. ヒト受精胚の作成を行う生殖補助医療研究に関する倫理指針

[http://www.mhlw.go.jp/general/seido/kousei/i-kenkyu/dl/9\\_01.pdf](http://www.mhlw.go.jp/general/seido/kousei/i-kenkyu/dl/9_01.pdf)

7. ヒト幹細胞を用いる臨床研究に関する指針

<http://www.mhlw.go.jp/general/seido/kousei/i-kenkyu/rinsyo/dl/shishin.pdf>

## 日本語論文の英文化、または英語論文の日本語化による 再掲載 (secondary publication) について

再掲載 (secondary publication) とは、一定の条件を満たせば二重出版 (duplicate publication) と見なさない出版形態のことです。

International Committee of Medical Journal Editors (ICMJE) は論文の再掲載を容認しています。この条件はホームページ (<http://www.icmje.org/>) の Uniform Requirements for Manuscripts Submitted to Biomedical Journals : Writing and Editing for Biomedical Publications → Publishing & Editorial Issues → Overlapping Publications → Acceptable Secondary Publication に記載してあります。日本新生児成育医学会 (学会誌編集委員会) は基本的に ICMJE に従い、再掲載を認めることにしました。

本会誌における再掲載容認の目的は、本会誌に日本語で書かれた優れた論文を英文雑誌に投稿し、世界で広く読んでもらうこと、および英文雑誌に載った優れた論文を日本語化して本会誌に投稿し、会員に読んでもらうことにあります。

学会誌編集委員会では再掲載の実施要項を ICMJE の条件を一部修正し、以下のように設定しました。投稿時には郵便封筒とカバーレターに「再掲載」と明記してください。

### 再掲載実施要項

1. 本会誌の日本語の掲載論文を英文化して英文雑誌へ投稿する場合、著者は投稿規定部数の日本語論文プリントと英文原稿とを当委員会に送付し、査読を受けて許可を得なければならない。この場合、著者は英文雑誌が再掲載を容認していることを事前に確認し、そのことをカバーレターに明記する。
2. 英文雑誌の掲載論文を日本語化して本会誌へ投稿する場合、著者は著作権を持つ学会誌の編集委員会が発行した再掲載許可証と、投稿規定部数の英語論文プリントと日本語原稿とを当委員会に送付し、査読を受けて許可を得なければならない。
3. 再掲載論文は異なったグループの読者を意図したものでなければならない。
4. 再掲載論文の題名には、原著論文の secondary publication であることを記載しなければならない (題名に続いて “- secondary publication (complete translation または abridged translation)” と記す)。
5. 再掲載論文の表紙の footnote に、原著論文を引用しなければならない (This article is based on a study first reported in the “title of journal, with full reference” )。
6. 再掲載論文は原著論文のデータ並びに解釈を忠実に反映していなければならない。
7. 原著論文の著作権を尊重するために、再掲載は原著論文の掲載から 1 週間以降でなければならない。
8. 原著論文がすでに MEDLINE に索引化されている場合、National Library of Medicine は translation については引用や索引化をしないことを著者は知っておく必要がある。
9. 日本新生児成育医学会に関連した論文業績としては、日本語論文または英語論文のどちらか一方を採用し、2 編とはカウントしない。

平成 27 年 6 月 1 日改正

## 投稿論文チェックリスト

投稿時にチェックし、原稿に添付してください。原稿の体裁・様式が投稿規定に則していない場合、投稿を受け付けられない場合もあります。

主著者名： \_\_\_\_\_ 施設名： \_\_\_\_\_

原稿の種類： 原著 総説 (いずれかを選んでください)

題名： \_\_\_\_\_

チェックボックス  に✓してください

項目	確認事項		
投稿規定	1	筆頭著者は本学会会員である 筆頭著者が卒後5年以内の非会員の場合は非会員投稿申請書を添付する	<input type="checkbox"/>
	2	共著者はすべて本学会会員である	<input type="checkbox"/>
	3	Wordで作成しA4判、フォントサイズは12ポイントで40字×30行である	<input type="checkbox"/>
	4	ページ番号・行番号を記載する	<input type="checkbox"/>
	5	1枚目には①論文の表題、②著者の姓名、③所属、職名、E-mailアドレス、④原稿枚数、図表および写真の枚数を記載する	<input type="checkbox"/>
	6	下記のような見出しをつける 研究論文：要旨(400字以内) - 緒言 - 対象・方法 - 結果 - 考察 - 結論 症例報告：要旨(400字以内) - 緒言 - 症例 - 所見・経過 - 考察 - 結語	<input type="checkbox"/>
	7	文献、人名、地名、酵素名、化学物質名、薬品名は可能な範囲で原語とする	<input type="checkbox"/>
	8	用語は日本医学会医学用語辞典と日本小児科学会用語集に準じている ( <a href="http://jams.med.or.jp/dic/mdic.html">http://jams.med.or.jp/dic/mdic.html</a> ) ( <a href="http://www.jpeds.or.jp/modules/glossary/">http://www.jpeds.or.jp/modules/glossary/</a> )	<input type="checkbox"/>
	9	略語は初出時に日本語を示し、かっこ内に英語のフルスベルと省略形を記す 書式：日本語(英語フルスベル：略語)	<input type="checkbox"/>
	10	度量衡はkm, cm, mm, $\mu$ , m $\mu$ , L, mL, kg, mg, $\mu$ g, mEq/L, mg/100mLなどの単位を、数字は1, 2, 3などの算用数字を用いる	<input type="checkbox"/>
図表	11	図はそのまま印刷できるものを添付する(tiff, jpg, pdfなど。pptはpdfに変換する)	<input type="checkbox"/>
	12	図や表の挿入位置を本文中に「図○」「表○」と明記する	<input type="checkbox"/>
	13	図表は本文に貼り込まず、別ファイルとする	<input type="checkbox"/>
	14	図表にはタイトルと説明を記載する	<input type="checkbox"/>
	15	他誌書から引用した図表には出典を明記する(転載にあたっては版元と著者の許可を得る)	<input type="checkbox"/>
文献	16	文献は、出所順に番号を付け記載する	<input type="checkbox"/>
	17	各文献の表示著者数は3名以下で記載する	<input type="checkbox"/>
	18	文献の記載方法は投稿規定に準ずる	<input type="checkbox"/>
要旨和文	19	400字以内である	<input type="checkbox"/>
	20	和文要旨のページには、和文要旨、Key word(英語で5 words以内)を記載し、本文とは独立させる	<input type="checkbox"/>
英文要旨	21	300語以内である	<input type="checkbox"/>
	22	ネイティブスピーカーまたは(医学英語)専門家のチェックを受けている	<input type="checkbox"/>
	23	英文要旨のページには英語で表題、執筆者全員の姓名、所属、英文要旨、キーワードを記載し、本文とは独立させる	<input type="checkbox"/>
倫理	24	臨床研究、2例以上の症例報告では所属施設における倫理委員会などの承認を得て、本文中にその旨を明記する、[記載場所：__ページ__行目] [「該当なし」の場合は以下に理由を記載(記載がない場合は受付できません)] [理由： _____ ]	<input type="checkbox"/> 該当無 <input type="checkbox"/>
	25	介入がある場合には、患者または保護者から同意を得たことを本文中に明記する [記載場所：__ページ__行目]	<input type="checkbox"/> 該当無 <input type="checkbox"/>
	26	症例報告では、論文の投稿について患者または保護者からの同意を得てその旨を本文中に明記する [記載場所：__ページ__行目]	<input type="checkbox"/> 該当無 <input type="checkbox"/>
	27	個人が特定される可能性のある写真、または家系図の掲載については、患者または保護者からの同意を得てその旨を明記する [記載場所：__ページ__行目]	<input type="checkbox"/> 該当無 <input type="checkbox"/>
	28	「誓約書」に著者全員の署名(直筆)、筆頭著者の情報を明記する	<input type="checkbox"/>
	29	症例報告における症例は、これまでに論文として報告されていない症例である [「いいえ」の場合は以下に詳細を記載] [詳細： _____ ]	<input type="checkbox"/>
相利反益	30	著者全員の「発表者の利益相反(COI)申告書」を添付する	<input type="checkbox"/>
	31	論文末尾(引用文献リストの前)にCOIの有無を明記する	<input type="checkbox"/>

## 誓 約 書

年 月 日

下記投稿論文の内容あるいは主要部分を他誌に投稿していないことを誓約します。

また、本論文が採択された時は、その著作権を日本新生児成育医学会に委譲することを承認いたします。

論 文 名： \_\_\_\_\_

筆頭著者氏名： \_\_\_\_\_

所 属 先： \_\_\_\_\_

所属先住所：(〒 \_\_\_\_\_ - \_\_\_\_\_ ) \_\_\_\_\_

所属先 TEL： \_\_\_\_\_ 所属先 FAX： \_\_\_\_\_

E-mail アドレス： \_\_\_\_\_

(必ず連絡が取れるアドレスをご記載ください)

生 年 月 日：西暦 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日 医学部卒業年次：西暦 \_\_\_\_\_ 年

著者（共著者を含む全員）自署・押印

筆頭著者が卒後5年以下の医師の場合は会員番号欄に身分を記載してください。

\_\_\_\_\_ 印 \_\_\_\_\_ 印 \_\_\_\_\_ 印

(会員番号 \_\_\_\_\_ ) (会員番号 \_\_\_\_\_ ) (会員番号 \_\_\_\_\_ )

\_\_\_\_\_ 印 \_\_\_\_\_ 印 \_\_\_\_\_ 印

(会員番号 \_\_\_\_\_ ) (会員番号 \_\_\_\_\_ ) (会員番号 \_\_\_\_\_ )

\_\_\_\_\_ 印 \_\_\_\_\_ 印 \_\_\_\_\_ 印

(会員番号 \_\_\_\_\_ ) (会員番号 \_\_\_\_\_ ) (会員番号 \_\_\_\_\_ )

(本頁をコピーしてご利用ください)